

大きな多くの喜びを
いつまでも自分らしく

大多喜町認知症ケアパス



大多喜町

はじめに

～大きな多くの喜びある街で安心して暮らしていくために～

認知症になっても周りの人々が適切に関わり、各種サービスを上手に利用することで、住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らしていくことができます。

「認知症ケアパス」は、認知症の疑いから発症、進行とともに変化していく状態に応じて、どのようなサービスや支援を利用できるのかわかりやすくまとめたものです。なるべく早い時期から適切な対処方法を知っておくことは、認知症の人の理解やケアに役立ちます。

適切な治療と地域のサポートを受けて

体 ・ 心 ・ 生活

を見守りましょう。

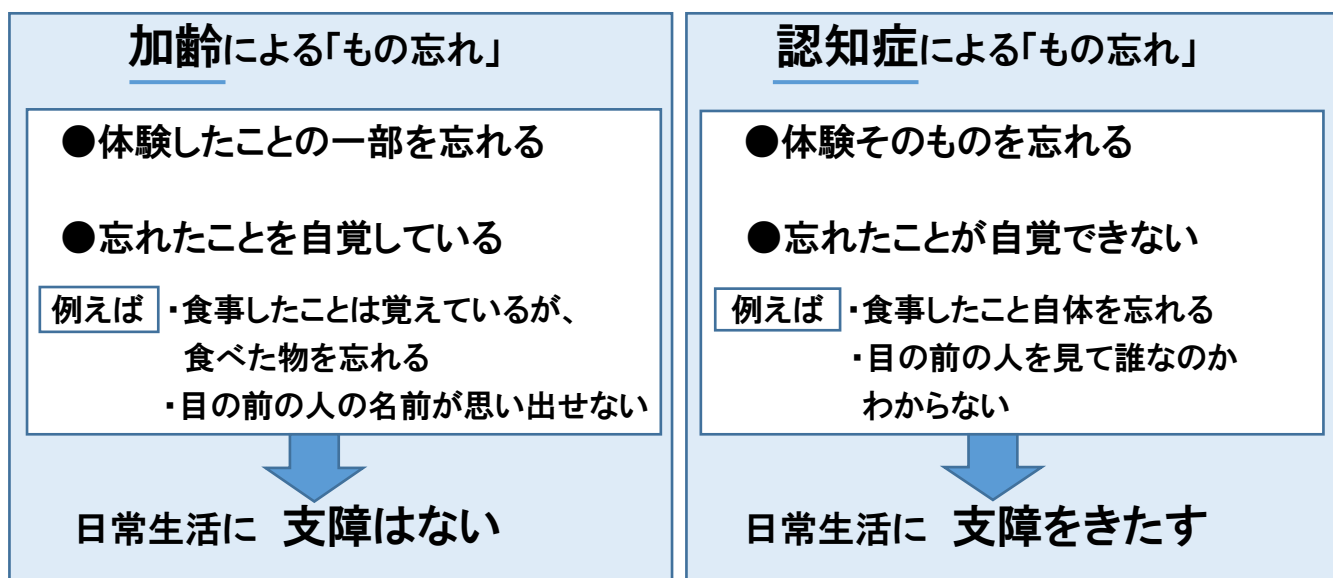


認知症を知ろう

認知症とは

認知症とは、様々な原因によって脳細胞が損傷し、働きが悪くなるために、「物事を記憶したり、判断する能力」や「時間や場所、人などを認知する能力」などが低下し、日常生活にさまざまな支障が生じます。

「加齢によるもの忘れ」と「認知症によるもの忘れ」は違います



おもな認知症の特徴

疾患	アルツハイマー型 認知症	レビー小体型 認知症	前頭側頭型 認知症	脳血管性 認知症
主な原因	脳の神経細胞が変化したり、消失したりしていくことにより発症する			脳梗塞や脳出血などが原因となり発症
主な特徴	・もの忘れ ・日付や時間がわからなくなる	・幻視 ・歩行が不安定 (小刻み歩行)	・性格の変化 ・同じ行動を繰り返す	・まだら記憶障害 ・気持のコントロールができない

認知症の早期発見

「あれ？ちょっと変かも？」 周囲の早期の気づきが重要です

認知症は徐々に進行する病気です。家族や周囲の方が「認知症かもしれない」というサインに早めに気づくことができると早期治療や適切な支援につなげやすくなります。

思い当たることはありませんか？

頻繁に物を置き忘れたり、 無くしたりする	ひとりになると 怖がったり寂しがったりする	片づけ・計算・運転などの ミスが多くなった
身だしなみに 気を使わなくなった	約束の日時や場所を 間違えるようになった	意欲や気力がなくなり 趣味にも関心がなくなった



早期診断と早期治療 早めの受診にはよいことがたくさんあります。

早期治療で改善が期待できる 認知症の原因になる病気は様々ですが、早期に発見し治療を始めることで、改善が期待できるものもあります。	進行を遅らせることができる 認知症の症状が悪化するまえに適切な治療やサポートを行うことによって、その進行のスピードを遅らせることができます。	事前に様々な準備ができる 症状が軽いうちに本人や家族が話し合い、治療方針を決めたり、利用できる制度やサービスを調べ「認知症に向き合うための準備」を整えることができます。
--	--	--

生活の変化への気づきや認知症が疑われる場合は、
かかりつけ医や地域包括支援センターへ相談しましょう。



受診するときのポイント

認知症の症状のあらわれ方には個人差があり、お医者さんの前では比較的是っきりと受け答えができる場合もあります。日ごろのご様子、状況をメモにまとめておくと、伝え忘れを防ぎ、適切な診断に役立ちます。

- 日常生活に支障をきたしているか
- この半年の間に症状が進行しているか
- 最初に異変に気づいたのはいつ頃か、それは突然出てきたのか
- 本人のこれまでの病気(既往)や服用中のお薬について

どんな病院にかかればよいの？

認知症はうつ病や難聴などとも混同されやすいので、適切な治療を受けるためには専門医にかかることをお勧めします。

精神科や神経内科、脳神経外科、老年科などの診療科で認知症の診断が受けられます。かかりつけ医がいない、専門的な診察を受けたいという場合には、認知症疾患センター(P4)へご相談ください。

専門医にかかるのが不安なときは

いきなり専門医にかかることに抵抗がある場合は、まずかかりつけ医へ相談してみましょう。身体の状態や病歴、普段の様子も把握しているので認知症の疑いがあると判断された場合には適切な専門医を紹介してもらえます。

認知症初期集中支援チーム

サポート医を含む医療・介護の専門職がチームを組んで、早期に専門医療機関の受診・治療につなげ、適切な医療や介護が受けられるよう支援します。

まずは地域包括支援センターへご相談ください。

健康福祉課 地域包括支援センター ☎0470-82-2168

認知症についての相談

大多喜町地域包括支援センター

(大多喜町役場健康福祉課内)

高齢者やそのご家族の方の総合相談窓口です。

認知症以外の相談にも対応します。

電話 0470-82-2168 (月～金 8:30～17:15)

認知症疾患医療センター

認知症の鑑別診断、地域における医療機関の紹介、認知症の症状への対応について相談対応を行う専門医療機関です。医療・介護等の関係機関と連携して支援します。

浅井病院 ☎ 0475-58-1411 (月～金曜日 10:00～16:00)	袖ヶ浦病院 ☎ 0438-63-1119 (月～土曜日 8:30～17:30)
東條メンタルホスピタル もの忘れ相談 ☎ 04-7093-6046 (月～土曜日 8:30～17:30)	※事前予約やかかりつけ医の紹介状が必要な場合があります。

千葉県若年性認知症専用相談窓口

若年性コーディネーターが配置され、若年性認知症の人に関わるさまざまな支援を行っています。

電話 043-226-2601（千葉大学医学部付属病院内）

（月・水・金曜日 9:00～15:00 ※祝日・年末年始を除く）

電話相談

若年性認知症コールセンター

（全国若年性認知症支援センター）

電話 0800-100-2707

（月～土曜日 9:00～15:00 通話無料）

ちば認知症相談コールセンター

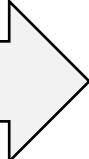
電話 043-238-7731

プッシュ回線の固定電話 局番なしの #7100

■ 電話相談 月・火・木・土曜日（祝日・年末年始除く）

■ 面接相談 金 10:00～16:00（予約制）

認知症の進行と主な症状

時間の経過により、症状が重度化していきます 				
認知症の進行	軽度認知障害 (MCI)	軽 度	中 度	重 度
		認知症の疑いがある又は症状があっても日常生活は自立している状態	見守りがあれば日常生活は自立できる状態	日常生活に手助けや介護が必要な状態
日常生活の困りごと	<ul style="list-style-type: none"> ●本人の自覚はなくても「何となくおかしい」と気づく。 ●家族も「以前とは違う」と感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●新しいことが覚えられず曜日や時間が分からなくなる。 ●薬を飲んだことを忘れる。 ●料理、片付け・計算等のミスが増える。 ●怒りっぽくなり、イライラしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●慣れた道で迷う ●着替えや入浴を嫌がる。 ●言葉や話の内容が理解できない。 ●いつも落ち着かない。 ●暴力的になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●古い記憶も失う ●家族の顔や人間関係が分からなくなる。 ●自分のいる場所や何をしているかが分からなくなる ●言葉が分からず話をしなくなる。
本人や家族へのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ●いつもと違う、何かおかしいと思ったら、早めに地域包括支援センター等に相談しましょう。 ●地域行事やボランティア、介護予防教室等社会参加を働きかけましょう。 ●本人の不安を和らげるように努め家庭内での役割を持ってもらい継続しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ●接し方の基本やコツなどを理解しましょう。 ●家族間で介護サービスについて話し合っておく。 ●介護で困ったら抱えこまず担当ケアマネ等に相談しましょう。 ●家族だけで支えずに民生委員や地域等見守る人を増やしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ●介護サービスを上手に利用しましょう。 ●介護の負担が増えるため、困ったことがあったら抱え込まず、早めに担当ケアマネジャーや地域包括支援センター等に相談してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ●日常生活でできないこと（食事・排泄・清潔を保つ等）が増え合併症を起こしやすくなることを理解しておきましょう。 ●仕草や表情等言葉以外のコミュニケーションを工夫するよう努めましょう。 ●介護と看護を充実させ、終末期について家族間で話し合っておきましょう。

認知症の進行に合わせて受けられるサービスや支援

認知症の進行（右に行くほど発症から時間が経過し、進行している状態）

認知症の生活機能障害 支援の内容	認知症の疑い	認知症を有するが日常生活は自立	誰かの見守りがあれば日常生活は自立	日常生活に手助け・介護が必要	常に介護が必要
介護予防 ・ 悪化予防	介護予防事業／認知症予防事業		認知症初期集中支援チーム		
	ボランティア活動／シニア活動／サロン活動				
安否確認 ・ 見守り	給食会／ひとり暮らし高齢者見守り支援事業／認知症サポーター				
	見守りネットワーク				
生活支援 ・ 身体介護	介護予防・日常生活支援総合事業 ●通所型サービス ●訪問型サービス		介護保険サービス（通所介護・訪問介護等）		
			小規模多機能型居宅介護（訪問・通い・泊まり）		
医療	かかりつけ医／かかりつけ歯科医／かかりつけ薬局 認知症専門外来／認知症疾患医療センター				
権利を守る	消費生活相談	日常生活自立支援事業		成年後見制度	
家族支援		家族介護教室／認知症地域支援推進員			家族介護支援事業
住まい			グループホーム 介護老人福祉施設 等		

いつまでも自分らしく
大多喜町認知症ケアパス

大多喜町健康福祉課 地域包括支援センター

〒298-0292 大多喜町大多喜93番地

電話 0470-82-2168

FAX 0470-82-4461



喜びの、
おひざもと。

千葉県 大多喜町